

新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	筋萎縮性側索硬化症における疾患関連遺伝子の解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	1980年4月1日以降に、新潟大学脳研究所病理学分野で病理診断された筋萎縮性側索硬化症の患者さんから50名程度です。
③概要	病理解剖により病理学的にALSが確認された患者さんを対象として、病態に関連する可能性のある遺伝子の有無を検索します。
④申請番号	G2018-0033
⑤研究の目的・意義	筋萎縮性側索硬化症(ALS)は運動ニューロンが選択的に変性し、約1/3の患者さんでは前頭側頭葉型認知症も伴う神経変性疾患です。通常、成年期発症で、そのほとんどは孤発性です。しかし、一方で、約5%に家族性の発症もみられ、多くの原因もしくは関連遺伝子があることが知られています。本研究においては、病理学的にALSと診断された患者さんを対象として、遺伝子異常の有無を検討します。本研究により、対象遺伝子と、臨床病理学的表現型の関連や、新たな疾患関連遺伝子が見いだされる可能性があり、個々に応じた治療やケアの開発に繋がる可能性があります。
⑥研究期間	倫理委員会承認日～2029年2月26日
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	ALSの病態の多様性を明らかにし、個々に応じた治療やケアの開発に繋げることを目的とします。
⑧利用または提供する情報の項目	病理解剖にて採取した凍結組織(主に脳)、臨床情報(年齢、性別、臨床診断名、罹病期間、中枢病理所見)
⑨利用の範囲	新潟大学脳研究所
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所病理学分野 柿田明美
⑪お問い合わせ先	新潟大学脳研究所病理学分野 柿田明美 電話: 025-227-0633 FAX: 025-227-0817 e-mail: kakita@bri.niigata-u.ac.jp